

丸山文庫所蔵資料調査報告

丸山眞男論文献年表（一）

川口 雄一（編）

はじめに

本稿は、丸山眞男（1914-1996）を対象に論じた文献を年表形式でまとめたものである。

東京女子大学丸山眞男記念比較思想研究センターは、国際的な丸山研究の拠点を目指して、丸山が残した諸資料の整理・公開と並行して、丸山論文献の蒐集・整備に図書館と共同で当たってきた。本稿は、丸山眞男文庫の開設から20年目を迎えた現時点で、この文献蒐集・整備の事業を俯瞰するとともに、情報を整理して発信するものである。また、これまでの事業を見直し、改めて系統的な蒐集・整備に向けた体制を整えたい。

丸山論文献は、丸山文庫では大きく3つに分けて登録されている。「図書」「雑誌」「草稿類」である。図書・雑誌は、丸山が手元に残していた文献のほか、没後に刊行されたものを網羅的に蒐集してきた。図書として登録されたものは、原則として開架書庫に特定のコーナーを設け、一覧できる体制を整えている。雑誌は、資料保存の観点から、閉架書庫に配架している。これらは、丸山生前のものだけでなく、没後に蒐集したものが多数を占めるに至っている。それらの蒐集方針は、原則として、①書名に丸山の名を掲げた図書、②丸山の名を掲げた章題または論文を一つでも収録した図書・雑誌、③丸山文庫所蔵資料の閲覧利用者より寄贈を受けたもの（この点は「丸山眞男文庫 閉架資料閲覧願」の「特記事項」等を参照）を定めている。

他方、草稿類では、分類項目の「評価・反応」のなかに「書評、人物論」を設けて、丸山を論じた文献が登録されている。丸山に宛てて送られた抜刷や『丸山眞男集』編集のために蒐集された文献（コピー）を主な内容としている。今後は資料収集に伴い、コピー類を草稿類に登録、追加してゆく予定である。

このようにして3つの資料は、配架場所だけでなく、検索システムにおいても、大学図書館 OPAC（図書・雑誌）とデジタルアーカイブ（草稿類）とに分かれている。本稿では、これら各種文献の一覧性を示すことをも意図している。

丸山論文献には、外国語のそれも少なくない。丸山文庫では、訳書を中心に、英語、中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語、イタリア語等の文献が所蔵されているが、これらを契機とした丸山論の系統的な蒐集・整理の体制は現在整備中であり、したがって本稿で

は対象外とした。なお、海外の丸山研究のおもな動向については、2014年度・16年度に東京女子大学で開催されたシンポジウムの各報告を参照されたい*。

最後に、本稿の基礎入力作業にあたり、本学学生スタッフ（2016～18年度勤務者）の助力を得た。記して感謝申し上げる。

池田可愛、宇井鈴香、大根田佳菜、濱田知花、星野夏美（敬称略）

* 2014年度シンポジウム「現代世界の中で丸山眞男をどう読むか」の内容は、『丸山眞男記念比較思想研究センター報告』第10号（2015年3月）に、2016年度シンポジウム「新しい丸山眞男像の発見 その世界大の視圏と交流のなかで」の内容は、『20世紀日本における知識人と教養：丸山眞男文庫デジタルアーカイブの構築と活用』（東京女子大学丸山眞男記念比較思想研究センター編集・発行、2017年3月）に掲載されている。

凡 例

本年表は、丸山眞男を対象として論じた文献を年表形式で列記したものである。今回は、最も早期の丸山論が確認できる1936年から1970年末までに刊行された文献を掲載する。ただし邦語文献を対象を限定した。

一 本年表への採録は、以下の基準による。

- (1) 表題に丸山の名を掲げた図書
- (2) 丸山を特集した雑誌
- (3) 表題に丸山の名を掲げた論文・記事
- (4) 丸山の評伝の事実を伝える記事（なお、これについては、既刊の丸山論が言及している場合、それを参照した）

二 本年表でとりあげた文献は以下の順序で掲載する。

- (1) 掲載順は、発行日を基準とする。したがって、例えば執筆者の没後に公開された書簡・日記等も、それが掲載された刊行物の日付による。
- (2) 再刊・再録された文献は、初出時の文献の下に列記する。改題された場合は注記するが、本文中に施された改訂等については注記しない。

三 採録した文献の書誌情報は、以下の要領で示す。

- (1) 発行月日が明らかでない場合は、□とし、同じ発行年月の末尾に掲載する。
- (2) ペンネームで掲載された文献はそのままとし、実名が明らかになっている場合は〔 〕でそれを示す。

- (3) 『 』は図書または雑誌の表題、「 」は論文・記事の表題を示す。
- (4) 主題と副題とはすべて「:」（コロン）で仕切る。なお、新聞掲載記事の場合、見出しのように見られる箇所も副題として示す場合がある。

四 採録した文献が東京女子大学丸山眞男文庫に所蔵されている場合、その登録番号・資料番号を、[]内に記す。

- (1) 7桁の数字は、「図書」として所蔵されていることを示す。
- (2) Mで始まる6桁の数字は、「雑誌」として所蔵されていることを示す。
- (3) その他は、「草稿類」として登録されていることを示す。「草稿類」の登録番号付与の基準については、「丸山眞男文庫草稿類デジタルアーカイブ」の「このアーカイブについて」(<http://maruyamabunko.twcu.ac.jp/archives/about>)を参照されたい。

五 本年表に不備を発見された方は、丸山眞男記念比較思想研究センターまで、御連絡をいただければ幸いである。本年表連載の最終回に、一括して補遺を掲載する予定である。

住 所：東京都杉並区善福寺2-6-1 東京女子大学構内（〒167-8585）

メール：marubun@lab.twcu.ac.jp

1936

12. 5 南原繁「懸賞論文選後小記」

『緑会雑誌』第8号, 東京帝大法学部緑会 [M000004]

1942

5. 1 遠山茂樹「近世 思想・文化」

『歴史学研究』第99号, 岩波書店 [M00029]

1943

6. 1 西郷信綱「文献学的人間的背景：本居宣長論」

『國語と國文學』第20巻第6号, 國語と國文學編輯部

『国学の批判：封建イデオログの世界』, 青山書院, 1948年 * 「第1章 倫理と方法」と改題

『日本文学の方法』, 未來社, 1955年 * 「付録 近世の学問と思想：『国学の批判』抄」と改題

『国学の批判：方法に関する覚書』, 青山書院, 1965年 * 「第1章 倫理と方法」と改題

『西郷信綱著作集』第8巻（文学史と文学理論Ⅲ・古典の影）, 平凡社, 2013年

9.15 （無記名）「見学部」

『緑会雑誌』第15号, 東京帝大法学部緑会 [1062-7-7-1]

1946

4. 1 津田左右吉「建国の事情と万世一系の思想」

『世界』第4号, 岩波書店

『日本上代史の研究』, 岩波書店, 1947年 * 「日本の国家形成の過程と皇室の恒久性に関する思想の由来」と改題

『日本上代史の研究』再版, 岩波書店, 1949年

『津田左右吉全集』第3巻（日本上代史の研究）, 岩波書店, 1963年 [0192528]

『戦後日本思想大系』第1巻（戦後思想の出発）, 筑摩書房, 1968年 [0205209]

『日本上代史の研究』改版, 岩波書店, 1972年

『現代神道研究集成』第9巻, 現代神道研究集成編集委員会編, 神社新報社, 1998年

『津田左右吉歴史論集』, 今井修編, 岩波文庫, 2006年

『古事記及び日本書紀の研究：建国の事情と万世一系の思想』, 毎日ワNZ, 2012年

『皇室と日本：敗戦後皇室論議の要諦』, 書肆心水, 2017年

『古事記及び日本書紀の研究：建国の事情と万世一系の思想』, 新書版, 毎日ワNZ, 2018年

6.24 アトム「雑誌評」

『朝日新聞』, 朝日新聞社 [1080-17-26] [1080-21-5-1]

11. 1 （無記名）「登場人物 青山虎之助・黒澤明・丸山眞男」

『文藝春秋』第24巻第9号, 文藝春秋社 [M000300]

11.27 S 「東大のホープ第一回, 「モラリスト」の風格 ポツダム一等兵の丸山さん」

『帝国大学新聞』第1006号, 帝国大学新聞社

『丸山眞男手帖』第22号, 丸山眞男手帖の会, 2002年 [M000426]

『丸山眞男話文集』第1巻, 丸山眞男手帖の会編, みすず書房, 2008年 [0200500]

1947

- 8.29 (無記名)「東大教授丸山眞男」
『毎日新聞』, 毎日新聞社 [1080-17-33-11]
- 12.1 櫻井恒次「新教授グループの性格: 知識人の性格」
『朝日評論』第2巻第12号, 朝日新聞社

1948

- 3.30 遠山茂樹「論文評 四つの福澤論吉論: 丸山眞男氏の業績を中心として」
『歴史学研究』第132号, 歴史学研究会 [M000301]
- 4.1 澤開進「学界新風景: 新教授グループ論」
『デモクラート』第1巻第2号, デモクラート社 [M000473]
- 10.1 瓜生忠夫「知的群像: 丸山眞男・大塚久雄・眞下信一」
『社会』第3巻第10号, 鎌倉文庫 [M000474]
- 12.13 高桑純夫「主体性論の一年」
『読売新聞』, 読売新聞社

1949

- 4.28 山口啓二「近世史研究の課題」
『日本史研究入門』, 遠山茂樹編, 東京大学共同組合出版部
『日本史研究入門』再版, 遠山茂樹編, 東京大学共同組合出版部, 1950年
『日本史研究入門』第3版, 遠山茂樹編, 東京大学出版部, 1951年 [0194644]
『日本史研究入門』増補版, 遠山茂樹編, 東京大学出版部, 1952年
- 6.1 (無記名)「素描: 丸山眞男の巻」
『読書倶楽部』第4巻第5号, 読書研究会 [M000302]
- 6.10 伊豆公夫「遠山茂樹・服部之総・丸山眞男共著「尊攘思想と絶対主義」」
『唯物論研究』第5号, 唯物論研究所
- 6.30 蠟山政道『日本における近代政治学の発達』
実業之日本社
『日本における近代政治学の発達』, ぺりかん社, 1968年 [0205198]
『日本における近代政治学の発達』, 新泉社(学生版), 1968年
- 9.1 竹内好「伝統と革命: 日本人の中国観」
『展望』第45号, 筑摩書房
『現代中国論』, 河出書房, 1951年 [0188337] *「日本人の中国人」に改題
『革命と人間解放・戦争に抗して』(現代日本評論選4), 野間宏との共著, 筑摩書房, 1953年
『竹内好評論集』第3巻(日本とアジア), 筑摩書房, 1966年 [0188246]
『竹内好全集』第4巻, 筑摩書房, 1980年 [0189813]
『竹内好セレクション: <戦後思想>を読み直す』第2巻, 丸川哲史・鈴木将久編, 日本経済評論社, 2006年

1950

1. 9 大熊信行「丸山眞男氏の学問説」
『時事通信：日刊時事解説版』第1247号，時事通信社
- 3.15 (無記名)「あゝ赤門は傾けり：官僚に蝕まれる東大」
『真相 特集版』第17集，人民社 [M000304]
4. 1 川崎新三郎「近世思想史研究の歩み」
『歴史評論』第4巻第4号，民主主義科学者協会
- 7.26 (無記名)「書齋拝見 丸山兄弟の巻」
『図書新聞』，図書新聞社 [1080-17-33-12]
- 9.21 (無記名)「「追放・納得行かず」 丸山教授執筆を保留」
『東京大学学生新聞』第56号，東京大学学生新聞会 [1062-7-7-2]
10. 1 林健太郎「現代知識人の良識：丸山眞男氏に対する非批判的批判」
『世界』第58号，岩波書店
- 10.11 池島重信「感ずる共鳴と不安：清水幾多郎・大河内一男編著『学生と社会』『学生と読書』」
『読売新聞』，読売新聞社
- 10.19 (無記名)「法学部初の合同集会 教授学生職員 パージに全員反対」
『東京大学学生新聞』第60号，東京大学学生新聞会 [1062-7-7-2]
11. 1 (無記名)「丸山眞男：人物点描」
『展望』第59号，筑摩書房 [M000475]
『丸山眞男手帖』第70号，丸山眞男手帖の会，2017年

1951

1. 1 桑原武夫「一九五一年と日本文化」
『読売新聞』，読売新聞社
- 1.17 竹内好「新しい観点の導入：アジアのナショナリズムを中心として」
『日本読書新聞』第576号，日本出版協会
『国民文学論』，東京大学出版会，1954年 * 「アジアのナショナリズムについて」
に改題
『竹内好評論集』第3巻（日本とアジア），筑摩書房，1966年 [0188246]
『竹内好全集』第5巻，筑摩書房，1981年 [0189814]
『日本とアジア』，ちくま学芸文庫，1993年
4. 5 竹内好「軍隊教育の問題性」
『思想』第322号，岩波書店 [M006796]
『国民文学論』，東京大学出版会，1954年 * 「軍隊教育について」に改題
『竹内好評論集』第2巻（新編日本イデオロギイ），筑摩書房，1966年 [0188245]
『竹内好全集』第8巻，筑摩書房，1980年 [0189817]
『日本イデオロギイ』，鈴木正編，こぶし書房，1999年
7. 1 竹内好「ナショナリズムと社会革命」
『人間』第6巻第7号，目黒書店 [M012772]
『革命と人間解放・戦争に抗して』（現代日本評論選4），野間宏との共著，筑摩書房，1953年

- 『国民文学論』, 東京大学出版会, 1954年
『竹内好評論集』第3巻(日本とアジア), 筑摩書房, 1966年 [0188246]
『竹内好全集』第7巻, 筑摩書房, 1981年 [0189816]
『日本とアジア』, ちくま学芸文庫, 1993年
『竹内好セレクション:〈戦後思想〉を読み直す』第1巻, 丸川哲史・鈴木将久編,
日本経済評論社, 2006年
8. 1 松本三之介「近世日本における国学の政治的課題とその展開:幕末国学に関する一考察(1)」
『国家学会雑誌』第65巻第2・3号, 国家学会事務所 [M005875]
*当該論文を掲載する図書は連載最終回(第3回)の下で一括表示
- 9.10 竹内好「近代主義と民族の問題」
『文學』第19巻第9号, 岩波書店
『革命と人間解放・戦争に抗して』(現代日本評論選4), 野間宏との共著, 筑摩書
房, 1953年
『国民文学論』, 東京大学出版会, 1954年
『竹内好評論集』第2巻(新編日本イデオロギイ), 筑摩書房, 1966年 [0188245]
『現代日本文学大系』第78巻(中村光夫・白井吉見・唐木順三・竹内好集), 筑摩書
房, 1971年
『竹内好全集』第7巻, 筑摩書房, 1981年 [0189816]
『竹内好セレクション:〈戦後思想〉を読み直す』第1巻, 丸川哲史・鈴木将久編,
日本経済評論社, 2006年
10. 5 竹内好「インテリと民衆の結びつき」
『国民講座』第1冊(日本の思想), 清水幾太郎編, 河出書房
『竹内好評論集』第2巻(新編日本イデオロギイ), 筑摩書房, 1966年 [0188245] *
「インテリ論」と改題
『竹内好全集』第6巻, 筑摩書房, 1980年 [0189815]
『日本イデオロギイ』, 鈴木正編, こぶし書房, 1999年
- 10.30 松本三之介「近世日本における国学の政治的課題とその展開:幕末国学に関する一考察(2)」
『国家学会雑誌』第65巻第4号, 国家学会事務所 [M005876]
*当該論文を掲載する図書は連載最終回(第3回)の下で一括表示

1952

1952. 3.15 丸山眞男『政治の世界』(御茶の水書房)刊行

3.22 竹内好「現実と取組む学問(論壇時評)」

『毎日新聞』, 毎日新聞社

『竹内好全集』第6巻, 筑摩書房, 1980年 *「現実と取組む学問:論壇時評・一九
五二年三月」と改題

5. 1 竹内好「今日の現場に生きる教育者へ:ナショナリズムと平和教育」

『教育技術』第7巻第2号, 小学館

『日本イデオロギイ』, 筑摩書房, 1952年 [0186524] *「若い友への手紙 IV ナ
ショナリズムと平和教育(教員へ)」と改題

『竹内好評論集』第2巻(新編日本イデオロギイ), 筑摩書房, 1966年 [0188245]

『竹内好全集』第6巻, 筑摩書房, 1980年 [0189815]

『日本イデオロギイ』, 鈴木正編, こぶし書房, 1999年

6.30 伊東多三郎『日本近世史(2)』

有斐閣

8.15 松本三之介「近世日本における国学の政治的課題とその展開：幕末国学に関する一考察(3)」

『国家学会雑誌』第66巻第1・2・3号, 国家学会事務所 [M005880]

『国学政治思想史の研究：近代日本政治思想史序説』, 未來社, 1957年 [0185980]

『国学政治思想史の研究：近代日本政治思想史序説』新版, 未來社, 1972年

1952. 12. 15 丸山眞男『日本政治思想史研究』(東京大学出版会)刊行

1953

1. 5 家永三郎「丸山眞男の労作：「日本政治思想史研究」」

『朝日新聞』, 朝日新聞社

1.19 松島栄一「諸論を貫く問題意識：ナショナリズムとファシズムに関する考察に全努力を傾注」

『日本読書新聞』第678号, 日本出版協会

3. 2 政〔石田雄〕「今日の思想1 “容共右派”を自称：歴史感覚の鋭い 丸山眞男」

『日本読書新聞』第684号, 日本出版協会 [1479]

『丸山眞男手帖』第69号, 丸山眞男手帖の会, 2014年

3.20 前田一良「丸山眞男著「日本政治思想史研究」」

『同志社法学』第16号, 同志社法学会

4. 5 中村元「自然的秩序と作為の論理」

『思想』第346号, 岩波書店 [M006818]

『中村元選集』第8巻(日本宗教の近代性), 春秋社, 1964年

4. 5 吉川幸次郎「丸山眞男著「日本政治思想史研究」」

『思想』第346号, 岩波書店 [M006818]

『雷峰塔』, 筑摩書房, 1956年

『吉川幸次郎全集』第17巻, 筑摩書房, 1969年

4.□ 竹内好「天皇制について」

『T・U・P通信』第11号, 東京大学出版会

『方法としてのアジア』, 創樹社, 1978年 [0188426]

『竹内好全集』第7巻, 筑摩書房, 1981年 [0189816]

8. 1 竹内好「屈辱の事件」

『世界』第92号, 岩波書店

『知識人の課題』, 講談社, 1954年 [0186525]

『日本と中国のあいだ』, 文藝春秋, 1973年 [0188279]

『竹内好全集』第13巻, 筑摩書房, 1981年 [0189822]

『竹内好セレクション：〈戦後思想〉を読み直す』第1巻, 丸川哲史・鈴木将久編,
日本経済評論社, 2006年

9.27 鶴飼信成「総合雑誌評 十月号」

『読売新聞』, 読売新聞社

9.30 大月昭「丸山眞男著「日本政治思想史研究」」
『史峰』第1巻第1号, 大阪市立大学歴史学研究会

12.21 B「鋭い“現実分析”未だし」
『日本読書新聞』第726号, 日本出版協会 [1080-21-5-2]

1954

4.30 守本順一郎「近世思想史の方法について：丸山眞男氏の所説の批判を中心として」
『経済学論集』第21巻第4・5号, 東京大学経済学会 [1291]
『東洋政治思想史研究』, 未来社, 1967年 [0185560] *「第1章 問題提起＝視角」
と改題

5.10 高田求・竹内好「民族のめざめ・高田求と竹内好との手紙」
『その日のために：あらしが育くんだ愛と真実 獄中学生をめぐる手紙』, 学生互助
会・理論社編集部編, 理論社

5.1 小和田武紀「封建社会の内的崩壊など：丸山眞男著“日本政治思想史研究”」
『公民館月報』第66号, 全日本社会教育連合会

8.30 家永三郎「丸山眞男著「日本政治思想史研究」」
『国家学会雑誌』第67巻第9・10号, 国家学会事務所 [M000303]

10.1 竹内好「吉川英治論」
『思想の科学』第1巻第6号, 講談社 [M007360]
『方法としてのアジア：わが戦前・戦中・戦後1935-1976』, 創樹社, 1978年 [0188426]
『竹内好全集』第7巻, 筑摩書房, 1981年 [0189816]

1955

6.30 相良亨『近世日本儒教運動の系譜』
弘文堂
『近世日本における儒教運動の系譜』, 理想社, 1965年 [0185722]
『相良亨著作集』第1巻(日本の儒教1), ペリかん社, 1992年

8.25 竹内好「現代思想の動き・第八回・アジアのナショナリズム」
『朝日新聞』, 朝日新聞社
『竹内好評論集』第3巻(日本とアジア), 筑摩書房, 1966年 [0188246] *「アジ
アのナショナリズム」と改題
『竹内好全集』第5巻, 筑摩書房, 1981年 [0189814]
『日本とアジア』, ちくま学芸文庫, 1993年

1956

4.1 武田泰淳「X氏との対話」
『中央公論』第71年第4号, 中央公論社 [1080-17-33-13]
『みる・きく・かんがえる』, 平凡社, 1957年
『新編 人間・文学・歴史』, 筑摩書房, 1966年
『滅亡について』, 文藝春秋, 1971年
『武田泰淳全集』第13巻, 筑摩書房, 1972年 [0189800]

10.26 辻清明「公式論は通らない：考え方にも政策にも強調される“柔軟性”」

1956.12.15 丸山眞男『現代政治の思想と行動』上（未来社）刊行

1957

1. 1 浅田光輝「天皇制独裁の内在的批判：国家機構そのものに踏みこむ必要 丸山眞男著「現代政治の思想と行動」
『日本読書新聞』第881号，日本出版協会
1. 8 （無記名）「日本を支配するもの：その欠陥をえぐる論文集 丸山眞男著「現代政治の思想と行動」
『毎日新聞』，毎日新聞社
- 1.28 大熊信行「ジャーナリズムとアカデミズムとの交渉：丸山眞男氏の新著は何を示唆するか」
『時事通信：日刊時事解説版』第3371号，時事通信社 [965-37]
2. 1 （無記名）「人物虫眼鏡 丸山眞男」
『知性』第4巻第2号，知性社
3. 1 猪木正道「誇りうる独創的な業績 丸山眞男著「現代政治の思想と行動」上巻」
『中央公論』第72年第3号，中央公論社
3. 1 久野収「知性読書室 現代政治の思想と行動」
『知性』第4巻第3号，知性社
- 3.15 安川定男「丸山眞男著「現代政治の思想と行動」上巻」
『同時代』第2次第4号，黒の会 [M000476]

1957. 3.30 丸山眞男『現代政治の思想と行動』下（未来社）刊行

4. 1 竹内好「人権感覚ということ」
『文庫』第67号，岩波書店 [M013942]
『方法としてのアジア：わが戦前・戦中・戦後1935-1976』，創樹社，1978年 [0188426]
『竹内好全集』第6巻，筑摩書房，1980年 [0189815]
4. 5 （無記名）「『都留証言』の中心人物 ノーマン大使が自殺：カイロで12階から飛降り」
『毎日新聞』，毎日新聞社 [1080-18-3-9]
- 4.25 竹内好「中国の民族主義」
『岩波講座 現代思想』第3巻（民族の思想），岩波書店
『竹内好評論集』第1巻（新編現代中国論），筑摩書房，1966年 [0205181]
『竹内好全集』第6巻，筑摩書房，1980年 [0189815]
5. 1 （無記名）「社会学徒の魂ゆする独創的な成果：丸山眞男著『現代政治の思想と行動』上・下巻」
『本の本』第137号，大阪屋東京支店
5. 5 小松茂夫「史的唯物論と「現代」」
『思想』第395号，岩波書店 [M000305]
5. 5 遠山茂樹「丸山眞男著「現代政治の思想と行動」」
『思想』第395号，岩波書店 [M000305]
『遠山茂樹著作集』第8巻（日本近代史学史），岩波書店，1992年 * 「丸山眞男著
『現代政治の思想と行動』について」と改題
- 5.20 鶴見俊輔「現実の系列の中で追求：なおとどめている解釈学的性格 丸山眞男『現代政治の思想と

行動』下巻」

『日本読書新聞』第900号，日本出版協会

『鶴見俊輔著作集』第5巻，筑摩書房，1976年 [0189908] * 「丸山真男『現代政治の思想と行動』下巻」と改題

『鶴見俊輔書評集成』第1巻，みすず書房，2007年 [0210693] * 「日本型ファシズムを分析 丸山真男『現代政治の思想と行動』下巻」と改題

6. 1 林健太郎「過去からの解放：マルクス主義と近代政治学の対立の克服」

『中央公論』第72年第8号，中央公論社

6. 1 芝田進午「『大衆社会』理論への疑問：マルクス主義学徒の立場から」

『中央公論』第72年第8号，中央公論社

- 7.25 竹内好「アジアにおける進歩と反動：日本の思想的状況に照らして」

『岩波講座 現代思想』第5巻（反動の思想），岩波書店

『竹内好評論集』第3巻（日本とアジア），筑摩書房，1966年 [0188246]

『竹内好全集』第5巻，筑摩書房，1981年 [0189814]

『日本とアジア』，ちくま学芸文庫，1993年

- 9.10 荒正人「岩波講座『現代思想』『反動の思想』」

『図書』第96号，岩波書店 [M000537] [M000538]

- 9.15 浅田光輝「天皇制とファシズム（丸山真男『現代政治の思想と行動』上・下 一九五六年，五七年）」

『産業と科学』第1号，静岡大学法経学会 [M000477]

- 11.18 N・D・S「丸山学派という集団」

『日本読書新聞』第926号，日本出版協会

- 11.□ 安丸良夫「丸山真男氏の方法について」

『新しい歴史学のために』第42号，民主主義科学者協会京都支部歴史部会

1958

1. 6 高見順「何をどう考えるか “実感べったり主義”は文士の専売ではない（上）」

『毎日新聞』，毎日新聞社

1. 7 高見順「何をどう考えるか 身びいきも甚だしい：「実感べったり主義」は文士の専売ではない（下）」

『毎日新聞』，毎日新聞社

『文学的現代紀行』，講談社，1961年 * 上下を合せ，「文学的思考方法といふこと」と改題

『高見順全集』第13巻，勁草書房，1977年

- 1.10 埴谷雄高「反動の弁証法：現代思想講座を視見して」

『図書』第100号，岩波書店 [M000478]

『振子と坩堝』，未來社，1964年 * 「岩波講座『現代思想』」と改題

『幻視者宣言』，三一書房，1994年

『埴谷雄高全集』第4巻，講談社，1998年

- 1.14 竹内好「思想と文学の間（上）：思想を状況としてとらえる方法から」

『東京新聞』（夕刊），東京新聞社

- 1.15 竹内好「思想と文学の間（中）：本質にせまる「近代文学」の有効な評価」

『東京新聞』（夕刊），東京新聞社

- 1.16 竹内好「思想と文学の間（下）：丸山真男の論文制作の内的な秘密」

- 『東京新聞』（夕刊），東京新聞社
- 『竹内好全集』第12巻，筑摩書房，1981年 [0189821] *上中下を合せ，「思想と文学の間」と改題
4. 1 浜田義文「近代主義への疑問など：友Uへの手紙」
『現代思潮』第4号，思想のひろば [M000479]
- 4.25 竹内好「権力と芸術」
『現代芸術』第5巻（権力と芸術），1958年
『竹内好評論集』第2巻（新編日本イデオロギイ），筑摩書房，1966年 [0188245]
『日本現代文学全集』第93巻（中島健蔵・桑原武夫・中野好夫・竹山道雄・高橋義孝・竹内好集），講談社，1968年
『現代日本文学大系』第78巻，筑摩書房，1971年
『竹内好全集』第7巻，筑摩書房，1981年 [0189816]
5. 1 高見順「社会学者への提言：「科学」読みの「科学」知らず」
『中央公論』第73年第5号，中央公論社
『文学的現代紀行』，講談社，1961年
『日本現代文学全集』第85巻（伊藤整・高見順集），講談社，1963年
『高見順全集』第13巻，勁草書房，1977年
『日本現代文学全集』第85巻（伊藤整・高見順集），増補改訂版，講談社，1980年
- 5.26 武田泰淳「社会学者と文学者」
『週刊読書人』第226号，読書人 [1080-17-33-14]
『現代の魔術：武田泰淳評論集』，未來社，1958年
『滅亡について』，文藝春秋，1971年
『武田泰淳全集』第13巻，筑摩書房，1972年 [0189800]
11. 1 久野収・鶴見俊輔・藤田省三「戦後日本の思想の再検討(5) 社会科学の思想：大塚・清水・丸山を軸として」
『中央公論』第73年第11号，中央公論社
『戦後日本の思想』，中央公論社，1959 [0210500]
『戦後日本の思想』，勁草書房，1966年
『戦後日本の思想』，講談社文庫，1976年
『戦後日本の思想』，岩波書店，1995年
『戦後日本の思想』，岩波現代文庫，2010年

1959

2. 9 江藤淳「人物歴訪 その2」
『日本読書新聞』第988号，日本出版協会
『日附のある文章』，筑摩書房，1960年
- 7.23 猪木正道「統一のとれた構成 思想的指針の成果上る：家永三郎・丸山真男ほか共編「近代日本思想史講座」第1巻・歴史的概観」
『読売新聞』（夕刊），読売新聞社
- 9.20 白井吉見「解説」
『現代教養全集』第13巻（日本の近代），筑摩書房 [0205108]
- 9.20 瓜生忠夫「暗い谷間の代表選手：丸山真男のこと」

- 『現代教養全集 月報13』, 筑摩書房
- 9.30 白井吉見「解説」
『現代教養全集』別巻 (一九六〇年・日本政治の焦点), 筑摩書房 [0205113]
『安保・1960』, 白井吉見編, 筑摩書房, 1969年 [0205221]
- 10.12 竹内好「小林秀雄の再評価へ:プロレタリア文学の相場下落を反映 『日本文学史』第十五巻「近代V」」
『週刊読書人』第295号, 日本書籍出版協会
『竹内好全集』第12巻, 筑摩書房, 1981年 [0189821]
- 11.20 白井吉見「解説」
『現代教養全集』第15巻 (日本文化の反省), 筑摩書房 [0205109]

1960

- 1.13 緑川信隆〔黒田寛一〕「丸山政治学とトロツキズム (上):その批判のエセ現実性」
『早稲田大学新聞』第797号, 早稲田大学新聞会
- 1.20 緑川信隆〔黒田寛一〕「丸山政治学とトロツキズム (下):その「政治過程論」の誤り」
『早稲田大学新聞』第798号, 早稲田大学新聞会
- 1.25 D・H・S「独立心旺盛な学者群:鋭い現実感覚にもとづく発想」
『週刊読書人』第309号, 読書人 [1080-17-33-15]
- 2.10 竹内好「戦争責任について」
『現代の発見』第3巻 (戦争責任), 現代の発見編集委員会編, 春秋社
『竹内好評論集』第3巻 (日本とアジア), 筑摩書房, 1966年 [0188246]
『竹内好全集』第8巻, 筑摩書房, 1980年 [0189817]
『日本とアジア』, ちくま学芸文庫, 1993年
- 2.20 片岡啓治「危機に惹かれる目:丸山真男をめぐる(1)」
『現代叢書』第5号, 現代叢書同人会 [M000306]
- 2.25 林健太郎「いくつかの出会いと別れ」
『移りゆくものの影:インテリの歩み』, 文藝春秋新社
『歴史と体験』, 文藝春秋, 1972年
- 3.7 小林直樹「主体的な自我の確立の途:近代日本思想史講座6「自我と環境」について」
『週刊読書人』第315号, 読書人 [1080-17-33-3]
- 6.1 (無記名)「国会の議決白紙へ」東大「全学教官集会」開く」
『読売新聞』, 読売新聞社
- 6.1 (無記名)「東大全学教官研究集会の講演から:見出せぬ“討論政治” 国民と国会の間にズレ」
『朝日新聞』, 朝日新聞社
- 6.2 (無記名)「東大の「全学教官研修会」で講演した 丸山真男」
『産経新聞』, 産業経済新聞東京本社
『丸山真男手帖』第69号, 丸山真男手帖の会, 2014年
- 6.19 (無記名)「噴火する東大法学部:民主主義のために立ち上った静かな そして“異例”の行動」
『毎日グラフ』第13巻第25号, 毎日新聞社 [M000480]
- 6.21 (無記名)「茅声明を支持 東大教授団」
『読売新聞』(夕刊), 読売新聞社
- 6.23 桑原武夫「貫く民主主義擁護:言論はもはや無力でない」

- 『朝日新聞』, 朝日新聞社
- 6.26 (無記名)「続・噴火する東大法学部：憲法問題研究会のメンバー」
『毎日グラフ』第13巻第26号, 毎日新聞社 [M000481]
- 7.3 (無記名)「全学が起ち上がる時：続続・噴火する東大法学部」
『毎日グラフ』第13巻第27号, 毎日新聞社 [M000482]
- 7.16 (無記名)「医者か? 坊主か?: 清水幾太郎氏の闘い」
『図書新聞』第561号, 図書新聞社
- 7.20 安丸良夫「近世思想史における道徳と政治と経済：荻生徂徠を中心に」
『日本史研究』第49号, 日本史研究会
- 8.1 小松撰郎「忠誠と反逆：丸山真男と橋川文三」
『理想』第327号, 理想社
- 8.1 竹内好「大事件と小事件：五・一九前後」
『世界』第176号, 岩波書店 [M000158]
『不服従の遺産』, 筑摩書房, 1961年 [0189827]
『竹内好全集』第9巻, 筑摩書房, 1981年 [0189818]
- 8.1 内藤国夫「何が樺さんを殺したか」
『世界』第176号, 岩波書店 [M000158]
- 9.1 福田恆存「常識に還れ」
『新潮』第57巻第9号, 新潮社
『常識に還れ』, 新潮社, 1960年
『論争のすすめ』, 新潮社, 1961年
『現代日本思想大系』第35巻(新保守主義), 林健太郎編, 筑摩書房, 1963年 [0192651]
『福田恆存評論集』第6巻(平和の理念), 新潮社, 1966年
『福田恆存全集』第5巻, 文藝春秋, 1987年
『福田恆存評論集』第7巻(常識に還れ), 麗澤大学出版会, 2008年
- 9.1 藤原弘達「「天下泰平策」という発想」
『群像』第15巻第9号, 講談社
『吉田茂：その人その政治 怪奇な“ワンマン”のすべて』, 読売新聞社, 1965年
- 10.3 芝原拓自・鈴木良・安丸良夫「思想としての現代社会科学：丸山真男・大塚久雄」
『新しい歴史学のために』第63号, 民主主義科学者協会京都支部歴史部会
- 10.19 篠田一士「浅沼事件前後」
『読売新聞』(夕刊), 読売新聞社
- 10.30 吉本隆明「擬制の終焉」
『民主主義の神話：安保闘争の思想的総括』, 谷川雁等との共著, 現代思潮社
『擬制の終焉』, 現代思潮社, 1962年
『民主主義の神話：安保闘争の思想的総括』新版, 現代思潮社, 1966年
『吉本隆明全著作集』第13巻(政治思想評論集), 勁草書房, 1969年 [0189652]
『民主主義の神話：安保闘争の思想的総括』新装版, 現代思潮新社, 2010年
『吉本隆明全集撰』第3巻(政治思想), 大和書房, 1986年
『情況』第4期第1巻第4号, 情況出版, 2012年
『吉本隆明全集』第6巻, 晶文社, 2014年
- 11.1 江藤淳「“戦後”知識人の破産」

- 『文藝春秋』第38巻第11号, 文藝春秋新社
『表現としての政治』, 文藝春秋, 1969年
『江藤淳著作集』第6巻(政治・歴史・文化), 講談社, 1967年 [0189696]
- 11.25 山田宗睦「丸山真男・江藤淳: 安保のなかの理想と理念」
『春秋』第18号, 春秋社
『戦後への出生証』, 勁草書房, 1965年
- 12.1 秋山庄太郎・大竹新助「“今日の国士”十人: 現代日本のオピニオン・リーダー」
『文藝春秋』第38巻第12号, 文藝春秋新社 [1080-17-33-16]
- 1961**
- 3.1 福田恆存「論争のすすめ」
『中央公論』第76年第3号, 中央公論社
『論争のすすめ』, 新潮社, 1961年
『福田恆存全集』第5巻, 文藝春秋, 1987年
『福田恆存評論集』第7巻(言葉とはなにか), 新潮社, 1966年
『福田恆存評論集』第7巻(常識に還れ), 麗澤大学出版会, 2008年
- 3.20 中村菊男「「体制」と人間性の関係: 格調高い田中美知太郎氏の政治論」
『読売新聞』(夕刊), 読売新聞社
- 4.4 黒井明「各界新地図 日本史(下): 盛んになった史料復刻」
『読売新聞』(夕刊), 読売新聞社
- 6.20 柴田高好「丸山真男批判: 市民主義と市民政治学」
『現代思想』第1巻第2号, 現代思想研究会 [M000307]
『現代とマルクス主義政治学』, 現代思潮社, 1962年
『現代とマルクス政治学』, こぶし書房, 2012年
- 6.25 橋川文三「現代的革命の理想像: 井汲卓一ほか共編「日本のマルクス主義①」“現代のイデオロギー”
①」
『読売新聞』, 読売新聞社
- 7.1 遠山景久「丸山真男氏批判: 進歩的文化人の新しい装おい」
『人間専科』第3巻第7号, 人間専科社 [1080-17-33-17]
『論客と剣客: 現代日本の思想状況』, 論争社, 1961年
- 8.10 大熊信行「大日本言論報国会の異常性格: 思想史の方法に関するノート」
『文學』第29巻第8号, 岩波書店 [M013158]
『日本の虚妄: 戦後民主主義批判』潮出版社, 1970年 [0191746] * 「「大日本言論
報国会」とは何であったか: 思想史の方法に関するノート」と改題
『日本の虚妄: 戦後民主主義批判』増補版, 論創社, 2009年
- 9.15 尾藤正英『日本封建思想史研究: 幕藩体制の原理と朱子学的思惟』
青木書店 [0183146]
1961. 10. 5 丸山真男(編)『人間の研究IV 人間と政治』(有斐閣)刊行
- 11.1 竹内好「感想と提案」
『思想の科学』第4次第35号, 中央公論社 [M007398]

- 『転形期：戦後日記抄』創樹社，1974年 * 「明治維新百年祭・感想と提案」と改題
『竹内好全集』第8巻，筑摩書房，1980年 [0189817]
11. 2 (無記名) 「難問題にいとむ力作：丸山真男編「人間と政治」(人間の研究IV)」
『新潟日報』，新潟日報社 [965-34]
11. 5 福島裕「中国の新しい人間像と西欧的思考：自発的意欲の問題をめぐる」
『思想』第449号，岩波書店 [M006921]
- 11.13 高島通敏「新たなる「政治学」への視野：巧みな構成のもとに提起されてきたテーマのすべてを包
括 丸山真男編『人間と政治 人間の研究IV』」
『週刊読書人』第400号，日本書籍出版協会 [965-32]
- 11.15 梅本克己「丸山真男氏への手紙」
『唯物論と主体性』，現代思潮社
『梅本克己著作集』第9巻(宗教・文学・人間)，三一書房，1978年 [0205309]
- 11.15 山田宗睦「市民主義の発想」
『歴史学研究』第259号，歴史学研究会
『戦後への出生証』，勁草書房，1965年 * 「市民主義の発想：丸山・日高・久野・
鶴見」と改題
- 1961.11.20 丸山真男『日本の思想』(岩波書店)刊行
武田清子(編)『思想史の方法と対象：日本と西欧』(創文社)刊行
- 11.20 久野収「丸山真男著 日本の思想 みごとなレントゲン写真：われわれの過去を目の前にひきすえ
る機会」
『日本読書新聞』第1131号，日本出版協会 [965-12]
- 11.23 小田切秀雄「丸山真男著「日本の思想」目のくらむような学問的冒険」
『信濃毎日新聞』，信濃毎日新聞社 [965-16]
- 11.27 小松茂夫「現代思想の状況と課題：丸山真男氏の『日本の思想』の提起するもの」
『週刊読書人』第402号，日本書籍出版協会 [965-13]
- 11.29 (無記名)「評価される分析力：雑居する“タコつぼ文化” 「日本の思想」丸山真男著」
『西日本新聞』，西日本新聞社 [965-18]
- 11.30 (無記名)「新刊紹介」
『東京タイムズ』，東京タイムズ社 [965-26]
12. 1 埴谷雄高「均斉感をもった構築：丸山真男著『日本の思想』を読んで」
『図書』第148号，岩波書店 [M011820] [965-17]
『振子と坩堝』，未來社，1964年 * 「丸山真男著『日本の思想』」と改題
『幻視者宣言』，三一書房，1994年
『埴谷雄高全集』第5巻，講談社，1998年
12. 1 (無記名)「批評と紹介 共通の広場はどこに? : 『日本の思想』丸山真男著」
『名古屋タイムズ』(夕刊)，名古屋タイムズ社 [965-21]
12. 4 植手通有「現代思想の痛烈な自己批判：南原政治学を継ぐ六つの論文 『南原繁先生古稀記念 政
治思想における西欧と日本 下』」
『日本読書新聞』第1132号，日本出版協会 [965-38]
12. 4 佐野英二「丸山真男氏の問題意識について」

- 『週刊読書人』第403号, 日本書籍出版協会 [965-13]
12. 4 吉田秀和「あることとらしいこと：区別をはっきりさせよう」
『読売新聞』(夕刊), 読売新聞社
12. 6 上山春平「座標軸を作る努力：歴史主義的な位置づけに疑問も 丸山真男・著「日本の思想」
『東京新聞』(夕刊), 東京新聞社 [965-19]
12. 6 (無記名)「進歩主義の病菌えぐる：丸山真男著『日本の思想』」
『北海道新聞』, 北海道新聞社 [965-24]
12. 9 (無記名)「ブックガイド：ベストセラー 直接的な効用を否定：新書版「日本の思想」丸山真男著」
『神戸新聞』(夕刊), 神戸新聞社 [965-3]
- 12.10 竹内好「戦争体験の一般化について」
『文学』第29巻第12号, 岩波書店 [M013162]
『竹内好評論集』第3巻(日本とアジア), 筑摩書房, 1966年 [0188246]
『竹内好全集』第8巻, 筑摩書房, 1980年 [0189817]
『日本とアジア』, ちくま学芸文庫, 1993年
- 12.10 (無記名)「その構造と分析：丸山真男著『日本の思想』」
『朝日新聞』, 朝日新聞社 [965-9]
- 12.11 (無記名)「タコツボ型の思想典型：『日本の思想』丸山真男著」
『山形新聞』, 山形新聞社 [965-27]
- 12.12 渡辺京二「“奇妙な近代”生む 激しい病理批判の意識：日本の思想 丸山真男著」
『熊本日日新聞』, 熊本日日新聞社 [965-22]
- 12.14 多田道太郎「丸山真男著「日本の思想」 理論と実感のミゾ：ふるしきの知性への挑戦」
『読売新聞』(夕刊), 読売新聞社 [965-5]
- 12.16 小田切秀雄「日本近代の思想・文学に対する評価 三つの座標：丸山・高見・飛鳥井氏の主張」
『図書新聞』第634号, 図書新聞社 [965-10]
- 12.17 (無記名)「構造的視点から説く：丸山真男著『日本の思想』」
『中部日本新聞』, 中部日本新聞社 [965-23]
- 12.17 (無記名)「生きた今日への挑戦：丸山真男『日本の思想』」
『サンデー毎日』第40年第51号, 毎日新聞社 [965-25] [965-29]
- 12.18 鶴見俊輔「日本精神の見とり図：巧みな抽象化で公平に 『日本の思想』丸山真男著」
『河北新報』, 河北新報社 [965-20]
- 12.18 PEN・PI「切実な示唆ふくむ：各人各説の方決論的反省 武田清子編『思想史の方法と対象—西欧と日本—』」
『読売新聞』, 読売新聞社 [965-35]
- 12.22 梅棹忠夫「精神的雑居性をつく：丸山真男著『日本の思想』」
『週刊朝日』第66巻第55号, 朝日新聞社 [965-28] [965-30]
- 12.23 生松敬三「思想史分野にすぐれた労作：名作曲家は生まれるか」
『図書新聞』第635号, 図書新聞社 [965-8]
- 12.23 増島宏「ユニークな神鳥氏の仕事 丸山氏の労作「人間と政治」」
『図書新聞』第635号, 図書新聞社 [965-33]
- 12.23 ABC「本年の収穫③ まさに分裂の季節：花田の独創, 丸山の勇気」
『産経新聞』, 産業経済新聞東京本社 [965-1]
- 12.25 藤原弘達「近代日本の精神病理学：名人芸でまとめた雄大な野心作 丸山真男著「日本の思想」

- 『日本経済新聞』, 日本経済新聞社 [965-15]
- 12.26 S 「本と時流 日本人の考え方:異なる三つのタイプ」
『東京新聞』, 東京新聞社 [965-14]
- 12.31 古在由重 「「たこつぼ」文化の解明:丸山真男『日本の思想』」
『朝日ジャーナル』第3巻第53号, 朝日新聞社 [M001191] [965-4]

1962

1. 8 久野収 「すばらしい“精神の強さ”:「日本の思想」丸山真男著」
『高知新聞』, 高知新聞社
『私の読書, 私の書評』, 三一書房, 1976年 * 「丸山真男『日本の思想』」と改題
- 1.13 土方和雄 「丸山真男著「日本の思想」設定のユニークさ:追求の手法の高度さ」
『図書新聞』第637号, 図書新聞社 [965-7]
- 1.14 白川良純 「仏教と生活:教えと現実の“一如”へ」
『読売新聞』, 読売新聞社
- 1.15 吉本隆明 「丸山真男論(一):はじめに」
『一橋新聞』第715号, 一橋新聞部
*当該論文を掲載する図書は連載最終回(第10回)の下で一括表示
- 1.15 O 「流動的な思考を「である」から「する」へ:丸山真男「日本の思想」」
『横浜国立大学新聞』第107号, 横浜国立大学新聞会 [965-11]
- 1.22 久野収 「「学問」と「体験」を軸に 丸山・竹内両氏の対象と今後への期待:思想史への二つのアプローチ 武田清子編『思想史の方法と対象—日本と西欧—』」
『週刊読書人』第409号, 日本書籍出版協会 [965-36]
『創文』第29号, 創文社, 1965年 [M000490]
- 1.30 吉本隆明 「丸山真男論(二):丸山「一等兵」の戦争体験」
『一橋新聞』第716号, 一橋新聞部 [965-40]
*当該論文を掲載する図書は連載最終回(第10回)の下で一括表示
2. 1 関根弘 「丸山真男著『日本の思想』」
『新日本文学』第17巻第2号, 新日本文学会 [M000484] [965-31]
- 2.15 安丸良夫 「近代日本の思想構造」
『新しい歴史学のために』第76号, 民主主義化学者協会京都支部歴史部会 [965-2]
『安丸良夫集』第6巻(方法としての思想史), 岩波書店, 2013年 * 「近代日本の思想構造:丸山真男『日本の思想』を読んで」と改題
- 2.15 吉本隆明 「丸山真男論(三):天皇制・右翼・民主々義」
『一橋新聞』第717号, 一橋新聞部 [965-41]
*当該論文を掲載する図書は連載最終回(第10回)の下で一括表示
- 2.□ 北村泰子 「人間の研究Ⅳ 人間と政治 丸山真男編」
『教育じほう』第170号, 東京都立教育研究所
3. 1 梅本克己 「マルクス主義と近代政治学:丸山真男の立場を中心として」
『講座現代のイデオロギー』第5巻(現代日本の思想と運動 その1), 井汲卓一・佐藤昇・長洲一二・水田洋編, 三一書房
『マルクス主義における思想と科学』, 三一書房, 1964年 [0210511]
『梅本克己著作集』第3巻(人間論), 三一書房, 1977年 [0210535]

4. 5 吉本隆明「日本のナショナリズムについて」
『思想』第454号, 岩波書店
『擬制の終焉』, 現代思潮社, 1962年
『近代日本の名著』第10巻(日本のナショナリズム), 徳間書店, 1966年 [0205185]
『吉本隆明全著作集』第13巻(政治思想評論集), 勁草書房, 1969年 [0189652]
『吉本隆明全集』第7巻, 晶文社, 2014年
- 5.10 吉本隆明「丸山真男論(四):「日本政治思想史研究」」
『一橋新聞』第721号, 一橋新聞部
*当該論文を掲載する図書は連載最終回(第10回)の下で一括表示
- 5.20 吉本隆明「丸山真男論(五):「日本政治思想史研究」その二」
『一橋新聞』第722号, 一橋新聞部
*当該論文を掲載する図書は連載最終回(第10回)の下で一括表示
- 5.□ (無記名)「暮らしの視点 「狭いながら楽しいわが家」の危機」
『マイホーム:女性自身姉妹誌』第2巻第5号, 光文社
7. 1 大熊信行「祖国喪失の日本的状況」
『現代の眼』第3巻第7号, 現代評論社
『日本の虚妄:戦後民主主義批判』, 潮出版社, 1970年 [0191746] *「祖国喪失の
日本的状況:「戦後民主主義」の虚妄を衝く」と改題
『日本の虚妄:戦後民主主義批判』増補版, 論創社, 2009年
8. 1 竹内好「日誌抄(五月)」
『みすず』第41号, みすず書房 [M015014]
『転形期:戦後日記抄』, 創樹社, 1974年
『竹内好全集』第16巻, 筑摩書房, 1981年 [0189825]
9. 1 大熊信行「平和主義者と国家」
『中央公論』第77年第10号, 中央公論社
『日本の虚妄:戦後民主主義批判』潮出版社, 1970年 [0191746] *「日本民族にお
ける忠誠問題:『国家論—政治学批判』こそ今世紀最大の著作」と改題
『日本の虚妄:戦後民主主義批判』増補版, 論創社, 2009年
9. 1 『世界』編集部「まえがき」
『戦争と平和に関する9章』(『世界』第201号付録), 岩波書店 [M000547] [M009639]
[1080-21-5-3]
10. 1 石田一良・大島康正・鈴木重信・関嘉彦・竹山道雄・中村光夫・林健太郎・福田恆存「現代日本の
思想」
『自由』第4巻第10号, 「自由」編集委員会 [M000308]
- 10.25 山田宗睦「思想史の方法」
『哲学論集』, 久野収編, 河出書房新社
- 10.30 吉本隆明「丸山真男論(六):荻生徂徠をめぐる」
『一橋新聞』第729号, 一橋新聞部
*当該論文を掲載する図書は連載最終回(第10回)の下で一括表示
- 11.15 浜田義文『現代思想入門:新しい生き方』
弘文堂
- 11.15 樋口謹一「丸山真男『日本政治思想史研究』」

- 『日本の名著 近代の思想』, 桑原武夫編, 中公新書 [0210504] [1080-17-19]
『日本の名著 近代の思想』 改版, 桑原武夫編, 中公新書, 2012年
- 11.30 吉本隆明「丸山真男論 (七) : 荻生徂徠をめぐって-2-」
『一橋新聞』 第731号, 一橋新聞部
*当該論文を掲載する図書は連載最終回 (第10回) の下で一括表示
- 12.10 内田芳明「日本における「思想史」の成立 : 丸山真男「日本の思想」をめぐって」
『商経法論叢』 第13巻第3号, 神奈川大学商経法学会

1963

1963. 英語版『現代政治の思想と行動』(Thought and behaviour in modern Japanese politics) 刊行

1. 6 武田泰淳「日本の夫婦(1) まず身近から」
『朝日ジャーナル』 第5巻第1号, 朝日新聞社 [M001247]
『日本の夫婦』, 朝日新聞社, 1963年 [0195581]
『武田泰淳全集』 第15巻, 筑摩書房, 1972年 [0189802]
『武田泰淳全集』 第15巻, 増補版, 筑摩書房, 1979年
- 1.13 M「聖書とマルクス : なぜ読まれるか」
『読売新聞』, 読売新聞社
- 1.15 吉本隆明「丸山真男論 (八) : 総論・1」
『一橋新聞』 第733号, 一橋新聞部
*当該論文を掲載する図書は連載最終回 (第10回) の下で一括表示
- 1.30 村上一郎「経験の美学と均衡の力学 : 「開かれた民主主義」の源流をめぐって」
『講座 戦後日本の思想』 第1巻 (哲学), 梅本克己編, 現代思潮社 [0210505]
『明治維新の精神過程』, 春秋社, 1968年
『明治維新の精神過程』 増補版, 春秋社, 1971年
『村上一郎著作集』 第4巻 (思想論II), 国文社, 1981年
- 1.30 吉本隆明「丸山真男論 (九) : 総論2」
『一橋新聞』 第734号, 一橋新聞部
*当該論文を掲載する図書は連載最終回 (第10回) の下で一括表示
- 2.15 吉本隆明「丸山真男論 (十) : 総論3」
『一橋新聞』 第735号, 一橋新聞部
『丸山真男論』, 一橋新聞部, 1963年 [0210006]
『丸山真男論』 増補改稿版, 一橋新聞編集部, 1963年 [0210008]
『模写と鏡』, 春秋社, 1964年
『われらの文学』 第22巻 (江藤淳・吉本隆明), 大江健三郎・江藤淳編, 講談社, 1966年
『模写と鏡』 増補版, 春秋社, 1968年
『吉本隆明全著作集』 第12巻 (思想家論), 勁草書房, 1969年 [0210013]
『現代の文学』 第25巻 (吉本隆明), 講談社, 1972年
『吉本隆明全集撰』 第4巻 (思想家), 大和書房, 1987年
『柳田国男論 丸山真男論』, ちくま学芸文庫, 2001年 [0210762]

- 『模写と鏡』新装版, 春秋社, 2008年
- 『吉本隆明全集』第7巻, 晶文社, 2014年
- 2.25 橋川文三「丸山真男批判の新展開：吉本隆明氏の論文を中心に」
『日本読書新聞』第1195号, 日本出版協会 [965-39]
『現代知識人の条件』, 弓立社, 1967年
『現代知識人の条件』新版, 弓立社, 1974年
『橋川文三著作集』第6巻, 筑摩書房, 1986年
『橋川文三著作集』第6巻, 増補版, 筑摩書房, 2001年
- 3.4 (無記名)「新・人国記145 長野県10 真田十萬石」
『朝日新聞』(夕刊), 朝日新聞社 [1080-21-5-4]
『新・人国記』第2巻, 朝日新聞社, 1963年
- 3.20 職員有志「報告と討論 丸山真男『日本の思想』をめぐって」
『アポリア』第5号, 大阪市立桜宮高等学校 [M000485]
- 4.25 今井寿一郎編『丸山真男先生著作目録(一)』
今井寿一郎 [0210009]
『歴史と現代』第3号, 九州近代史研究会, 1963年 [M000309] *「丸山真男教授
著作目録：自昭和二十一年至昭和三十八年」と改題
『丸山真男著作ノート』, 今井寿一郎編, 図書新聞社, 1964年 [0210011]
『丸山真男著作ノート』, 今井寿一郎編・川口重雄補訂, 現代の理論社, 1987年
[0210033]
『丸山真男集』別巻, 松沢弘陽・植手通有編, 岩波書店, 1997年 [0200047]
『丸山真男集』別巻, 新訂増補, 松沢弘陽・植手通有編, 岩波書店, 2015年 [0200064]
- 9.25 井上忠「丸山真男論の動向：安保斗争後の政治思想史研究の問題点」
『歴史と現代』第2号, 九州近代史研究会 [M000486]
- 10.15 竹内好「日誌抄(六・七月)」
『みすず』第54号, みすず書房 [M015026]
『転形期：戦後日記抄』, 創樹社, 1974年
『竹内好全集』第16巻, 筑摩書房, 1981年 [0189825]
- 10.30 竹内好「『丸山と吉本』論 序の序：観客のひとりとして」
『一橋新聞』第747号, 一橋新聞部
『日本と中国のあいだ』, 文藝春秋, 1973年 [0188279]
『竹内好全集』第12巻, 筑摩書房, 1981年 [0189821]
- 10.31 大熊信行「忠誠論：核時代における人間問題」
『現代の発見』第4巻(現代の天皇制), 現代の発見編集委員会編, 春秋社
- 12.13 谷沢永一編『丸山真男著作目録』
一橋新聞編集部 [0210010]

1964

- 2.8 ラディカル・エッセイスト「丸山真男の評価 英国書評誌から：逆説を愛するラディカルな人物」
(今井寿一郎訳)
『図書新聞』第743号, 図書新聞社 [1080-17-33-18]
『後衛の位置から：『現代政治の思想と行動』追補 丸山真男著〔附録〕(松沢弘陽

- 訳), 未来社, 1982年 [0201058] [0201059]
- 4.10 柴田高好『マルクス主義政治学序説』
三一書房
1964. 5.30 丸山眞男『増補版 現代政治の思想と行動』刊行
6. 5 田口富久治「丸山眞男「現代政治の思想と行動」: 戦後日本政治学の金字塔」
『昭和の名著 教養のための百選』, 共同通信社文化部編, 弘文堂 [0210508]
- 6.24 家永三郎「思想家としての丸山眞男」
『丸山眞男著作ノート』, 今井寿一郎編, 図書新聞社 [0210011]
『丸山眞男著作ノート』, 今井寿一郎編・川口重雄補訂, 現代の理論社, 1987年
[0210033]
『憲法・裁判・人間』, 名著刊行会, 1997年
7. 1 林房雄「大東亜戦争肯定論: 第8回 右翼とファシズム——日本にはファシズムはなかった」
『中央公論』第79年第7号, 中央公論社
『大東亜戦争肯定論』, 番町書房, 1964年 [0186247]
『林房雄著作集』第1巻(大東亜戦争肯定論), 翼書院, 1968年
『林房雄評論集』第6巻(『大東亜戦争肯定論』新訂), 浪曼, 1974年
『大東亜戦争肯定論』上, 心交会, 1984年
『大東亜戦争肯定論』, 夏目書房, 2001年
『大東亜戦争肯定論』普及版, 夏目書房, 2006年
『大東亜戦争肯定論』, 中公文庫, 2014年
- 7.15 日高六郎「解説 戦後の「近代主義」」
『現代日本思想大系』第34巻(近代主義), 日高六郎編, 筑摩書房 [0205147]
- 7.19 河原宏「現代政治の思想と行動」
『朝日ジャーナル』第6巻第29号, 朝日新聞社 [M000487]
- 7.25 宮川透「丸山政治学と丸山以後: イデーの熾烈さ 緊張欠く“丸山以後”の人々」
『図書新聞』第767号, 図書新聞社 [1080-17-33-19]
- 8.17 白井吉見「蛙のうた ある編集者の回想67: 二つの検閲(14) 被占領心理を語る: 卑屈と無力感の
日本国民」
『読売新聞』(夕刊), 読売新聞社
9. 1 林健太郎「戦後史をどう観るか」
『中央公論』第79年第9号, 中央公論社
『世界史と日本』, 新潮社, 1965年
10. 1 いいだもも「丸山眞男「日本政治思想史研究」論: ある世界史的皮肉について」
『思想の科学』第5次第31号, 思想の科学社 [M000312] [M000488]
『大衆文化状況を超えるもの: 文化と革命』, 晶文社, 1965年
10. 1 萩原延壽「戦後の出発点」
『中央公論』第79年第10号, 中央公論社
『萩原延壽集』第6巻(評論・エッセイ(1): 自由のかたち), 朝日新聞出版, 2008年
- 10.15 エドモンド・ブランデン「八紘一字」(松沢弘陽訳)
『みすず』第6巻第10号, みすず書房 [M000311]

- 『後衛の位置から：『現代政治の思想と行動』追補』丸山真男著〔附録〕，未來社，1982年〔0201058〕〔0201059〕
- 10.15 エドワード・サイデンステッカー「日本の不謬ならざる法皇」（松沢弘陽訳）
『みすず』第6巻第10号，みすず書房〔M000311〕
『後衛の位置から：『現代政治の思想と行動』追補』丸山真男著〔附録〕，未來社，1982年〔0201058〕〔0201059〕
- 10.15 ロナルド・ドーア「丸山と日本の思想」（松沢弘陽訳）
『みすず』第6巻第10号，みすず書房〔M000311〕
『後衛の位置から：『現代政治の思想と行動』追補』丸山真男著〔附録〕，未來社，1982年〔0201058〕〔0201059〕
- 10.15 バーナード・クリック「日本の政治学」（松沢弘陽訳）
『みすず』第6巻第10号，みすず書房〔M000311〕
『後衛の位置から：『現代政治の思想と行動』追補』丸山真男著〔附録〕，未來社，1982年〔0201058〕〔0201059〕
- 10.15 松沢弘陽「日本と西欧との対話：丸山真男「現代政治の思想と行動」の英訳をめぐって」
『みすず』第6巻第10号，みすず書房〔M000311〕
『後衛の位置から：『現代政治の思想と行動』追補』丸山真男著〔附録〕，未來社，1982年〔0201058〕〔0201059〕
- 11.1 いいだもも「『復初の説』ということ：丸山真男氏における青春の発見」
『新日本文学』第19巻第11号，新日本文学会〔M000489〕
『大衆文化状況を超越るもの：文化と革命』，晶文社，1965年
- 11.1 大熊信行「〈一月一考〉 社会学者と文学者」
『日本』第7巻第11号，講談社〔M012405〕
- 12.20 ヨゼフ・ピタウ「丸山真男『現代政治の思想と行動』：Masao Maruyama (Ivan Morris, ed., trans): *Thought and Behaviour in Modern Japanese Politics*；今井寿一郎『丸山真男著作ノート』」
『ソフィア：西洋文化ならびに東西文化交流の研究』第13巻第4号，上智大学〔M000313〕

1965

- 1.1 大熊信行「社会主義と国民主義」
『日本』第8巻第1号，講談社〔M012407〕
- 1.1 関良一「丸山真男『日本の思想』の読み方」
『学燈：受験の国語：大学入試マガジン』第18巻第1号，学燈社
- 2.1 小松茂夫「思想家としての丸山真男」
『日本』第8巻第2号，講談社〔M012409〕
- 2.1 柴田高好「大熊信行の国民主義」
『日本』第8巻第2号，講談社〔M012409〕
- 2.17 奥野健男「おもしろい「日本の歴史」」
『読売新聞』（夕刊），読売新聞社
- 4.20 （無記名）「ベトナム 平和へ積極活動を：大仏氏ら首相に要望書」
『読売新聞』（夕刊），読売新聞社
- 4.24 都留重人「労使関係で二労作 新視点求める尾高，津田：示唆の多い象山研究」

- 『朝日新聞』(夕刊), 朝日新聞社
5. 1 大熊信行「知識人は頹廃する: 丸山真男氏の“賭け”の思想はどこへ行くか」
『日本』第8巻第5号, 講談社 [M012412]
- 5.21 ポエチカ「大波小波 丸山真男の正論」
『東京新聞』(夕刊), 東京新聞社
『丸山真男手帖』第69号, 丸山真男手帖の会, 2014年
- 5.25 都留重人「キメ細かい「九条論」丸山真男: 『世界』 出色の企画, 憲法特集」
『朝日新聞』(夕刊), 朝日新聞社
6. 1 相良亨「制作の論理」
『日本』第8巻第6号, 講談社 [M012413]
- 6.15 吉野源三郎「ラッセル平和財団日本協力委員会ができるまで」
『ニューズレター』第1巻第1号, ラッセル平和財団日本協力委員会 [M000314]
7. 1 猪木正道「丸山真男 師にして友人」
『文藝春秋』第43巻第7号, 文藝春秋新社 [M000315]
- 7.12 (無記名)「よみうり寸評」
『読売新聞』(夕刊), 読売新聞社
8. 1 太田千鶴夫「丸山幹治への走り書」
『政界往来』第31巻第8号, 政界往来社 [M000491]
- 8.16 久野収「戦後史の人びと⑤ 学問的自立を確立 社会科学の旗手たち: 近代社会発展めざす」
『朝日新聞』(夕刊), 朝日新聞社
10. 1 上山春平「日本ナショナリズムの視点」
『展望』第82号, 筑摩書房
『日本のナショナリズム』, 至誠堂, 1965年

1966

1. 1 城戸又一・久野収・桑原武夫・中野好夫「『世界』創刊のころ」
『世界』第242号, 岩波書店
1966. 1.30 梅本克己・佐藤昇・丸山真男『現代日本の革新思想』(河出書房新社) 刊行
2. 8 (無記名)「アカデミズムにおける野党「丸山学派」」
『エコノミスト』第44巻第5号, 毎日新聞社 [M000316] [1080-17-33-20]
- 2.25 安岡章太郎「丸山真男氏の「タコソボ文化」説と糞尿処理問題」
『思想音痴の発想』, 芳賀書店
- 2.□ 三浦つとむ「丸山政治学の論理的性格: 個人意志・階級意志・国家意志の区別と連関」
『現状分析』第29号, 現状分析研究会 [M000492]
3. 1 吉本隆明「情況とはなにか: 戦後知識人の神話」
『日本』第9巻第3号, 講談社 [M012422]
『自立の思想的拠点』, 徳間書店, 1966年
『吉本隆明全著作集』第13巻(政治思想評論集), 勁草書房, 1969年 [0189652]
『現代思想』第40巻第8号, 青土社, 2012年
『吉本隆明全集』第9巻, 晶文社, 2015年

4. 1 山崎春成「書評 梅本克己・佐藤昇・丸山真男『現代日本の革新思想』その1 マルクス主義再考生の課題」
『現代の理論』第3巻第4号, 現代の理論社 [M000493]
4. 1 中岡哲郎「書評 梅本克己・佐藤昇・丸山真男『現代日本の革新思想』その2 現代日本の革新思想にふれて」
『現代の理論』第3巻第4号, 現代の理論社 [M000493]
4. 1 吉本隆明「情況とはなにか:革命的空語の変質」
『日本』第9巻第4号, 講談社 [M012423]
『自立の思想的拠点』, 徳間書店, 1966年
『吉本隆明全著作集』第13巻(政治思想評論集), 勁草書房, 1969年 [0189652]
『現代思想』第40巻第8号, 青土社, 2012年
『吉本隆明全集』第9巻, 晶文社, 2015年
- 4.20 山田宗睦「解説 戦争体験」
『近代日本の名著』第9巻(戦争体験), 徳間書店 [0205179]
6. 1 梅原猛「明治百年における日本の自己誤認:日本人の宗教的痴呆」
『日本』第9号第6号, 講談社 [M012424]
『美と宗教の発見:創造的日本文化論』, 筑摩書房, 1967年 [0210515]
『梅原猛著作集』第3巻(美と宗教の発見:創造的日本文化論), 集英社, 1982年
7. 7 (無記名)「北爆停止要請を:大内教授ら七人 政府に申し入れ」
『読売新聞』, 読売新聞社
7. 7 (無記名)「ベトナム和平でもの申す 北爆停止の勧告を:大内氏ら重ねて政府に要望」
『毎日新聞』, 毎日新聞社
- 7.11 藤原弘達「教祖 大宅壮一(ジャーナリズム)と丸山真男(アカデミズム):偶像視される二人の人間の共通性」
『週刊読書人』第633号, 読書人 [1080-17-33-22]
- 11.10 (無記名)「広い視野と判断力 東大法学部 五年制の構想発表:実施準備すでに始める」
『朝日新聞』, 朝日新聞社
- 12.20 上山春平「解説 日本のナショナリズム」
『近代日本の名著』第10巻(日本のナショナリズム), 徳間書店 [0205185]

1967

8. 1 野口武彦「徂徠政治学における虚構と実体」
『思想の科学』第5次第65号, 思想の科学社 [M007417]
『江戸人の昼と夜』, 筑摩書房, 1984年 [0192416]
- 8.31 田原嗣郎『徳川思想史研究』
未来社 [0180874]
- 9.16 西谷能雄「名著の履歴書 編集者による記録集(第六十九回):丸山真男著『現代政治の思想と行動』(上)」
『図書新聞』第927号, 図書新聞社 [1080-17-33-4]
*当該論文を掲載する図書は連載最終回(下)の下で一括表示
- 9.20 服部幸雄「丸山真男『日本の思想』」
『国語教材研究講座高等学校現代国語』第3巻, 増淵恒吉監修, 有精堂出版

- 9.23 西谷能雄「名著の履歴書 編集者による記録集（第八十回）：丸山真男著『現代政治の思想と行動』（下）」
『図書新聞』第928号，図書新聞社 [1080-17-33-5]
『名著の履歴書：80人編集者の回想』下，吉田公彦編，日本エディタースクール出版部，1971年
10. 1 古田光「丸山真男の思想と方法：現代における“巨匠”」
『潮』第88号，潮出版社 [1080-17-33-23]
10. 1 大隈秀夫・丸山邦男・村上兵衛・村島健一「日本を動かす100人の文化人：教祖族からお茶の間派まで」
『文藝春秋』第45巻第10号，文藝春秋
10. 7 吉村記者「“日本の近代化”をめぐる（下）：第二回九州国際文化会議から」
『読売新聞』（夕刊），読売新聞社
- 10.16 （無記名）「北ベトナム救援 “一日運動”呼びかけ：学者，文化人街頭へ」
『朝日新聞』，朝日新聞社
- 10.27 梅原猛「国家は冷酷な怪物：『潮』トインビー，大熊両氏の論文に深い感銘」
『河北新報』，河北新報社
- 11.20 中野博之「三木清・丸山真男」
『学燈：受験の国語：大学入試マガジン』第20巻第14号，学燈社

1968

6. 1 中島誠「丸山真男の人と思想（人と思想シリーズ・2）」
『経済往来』第20巻第6号，経済往来社
- 6.26 遠山茂樹「戦後の歴史学と歴史意識」
岩波書店 [0187237]
7. 1 日高六郎「解説 戦後思想の出発」
『戦後日本思想大系』第1巻（戦後思想の出発），筑摩書房 [0205209]
- 7.10 日野龍夫「礼楽への帰依：文学史上の徂徠学序説（上）」
『文学』第36巻第7号，岩波書店 [M013241]
- 7.25 長幸男・碧海純一・作田啓一・橋川文三・住谷一彦・古田光「戦後日本の思想状況：「近代日本思想史大系」の刊行によせて」
『書齋の窓』第166号，有斐閣 [M000319]
8. 1 高橋和巳「「文学的立場」同人の功績：共同討議・小田切秀雄他『対決の思想』」
『群像』第23巻第8号，大日本雄弁会講談社 [M000494]
- 8.10 日野龍夫「礼楽への帰依：文学史上の徂徠学序説（下）」
『文学』第36巻第8号，岩波書店 [M013242]
- 8.25 中島誠『戦後思想史入門』
潮出版社
10. 3 （無記名）「丸山氏らのチェコ・アピール 海外で反響高まる」
『朝日新聞』（夕刊），朝日新聞社
12. 1 中島誠「丸山真男：宙づりの思想家（現代の偶像⑫）」
『朝日ジャーナル』第10巻第49号，朝日新聞社 [M001542]
『現代の偶像』，朝日ジャーナル編，朝日新聞社，1969年

12.24 (無記名)「東大医学部が病院改革で試案：専門別に再編成」

『毎日新聞』, 毎日新聞社

1969

1.19 (無記名)「無残な“東大革命”幻想劇：“力”の激突の果て 荒廃だけが広がる」

『毎日新聞』, 毎日新聞社

2. 1 西郷信綱「学問のあり方についての反省：「理論と実感」の問題によせて」

『展望』第122号, 筑摩書房

『古典の影：批評と学問の切点』, 未来社, 1979年 [0183196]

『古典の影：学問の危機について』, 平凡社ライブラリー, 1995年

『西郷信綱著作集』第8巻(文学史と文学理論Ⅲ・古典の影), 平凡社, 2013年

3. 1 『新評』編集部「アカデミズムの代名詞」

『新評』第16巻第3号, 新評社 [1080-17-33-25]

3. 1 吉本隆明「収拾の論理」

『文藝』第8巻第3号, 河出書房新社 [M013625]

『情況』, 河出書房新社, 1970年

『吉本隆明全著作集(続)』第10巻(思想論Ⅱ, 勁草書房, 1978年 [0189651])

『吉本隆明全集撰』第3巻(政治思想), 大和書房, 1986年

3.20 遠藤立「戦後的人間：丸山真男と吉本隆明」

『吉本隆明論』, 仮面社 [0210518]

5. 5 (無記名)「丸山真男教授令息は日大全共闘の闘士デアル！」

『週刊文春』第11巻第17号, 文芸春秋 [1080-17-22]

5.20 鶴見俊輔「解説 誰に、なにを語りつぐのか？」

『語りつぐ戦後史』第1巻, 鶴見俊輔編, 思想の科学社 [0205219]

6. 1 山本義隆「東京大学 その無責任の底に流れるもの」

『現代の眼』第10巻第6号, 現代評論社

『知性の叛乱』, 前衛社, 1969年 [第2刷]

『私の1960年代』, 金曜日, 2015年 *「丸山真男について 一九六九年の発言」と改題(抄録)

7. 1 田島光平「「物に行く道」について：西郷信綱氏の諸説に対する疑問」

『解釈：国語・国文』第15巻第7号, 解釈学会 [M000495]

7.15 大谷恵教「教祖・丸山真男の行動理論」

『自由世界』第6巻第6号, 自由アジア協会編集委員会 [M000320] [1080-17-33-26]

8. 2 庄司薫『赤頭巾ちゃん気をつけて』

中央公論社 [0191143]

中公文庫, 1973年 [0183790]

『芥川賞全集』第8巻, 文藝春秋, 1982年

改版, 中公文庫, 1995年

改版, 中公文庫, 2002年

新潮文庫, 2012年

12.□ 長島和弘「一酔人処生問答」

『ARS』第2号, ARSの会 [M000321]

1970

2. 5 安丸良夫「(紹介と批評) 丸山真男『日本政治思想史研究』」
『歴史の名著(日本人篇)』, 歴史科学協議会編, 校倉書房 [0187199] [0210522]
『安丸良夫集』第6巻(方法としての思想史), 岩波書店, 2013年
- 4.10 寺崎昌男「解説」
『戦後の大学論』, 寺崎昌男編, 評論社 [0205232]
- 4.13 色川大吉『明治の文化』
岩波書店 [0183003]
岩波書店, 1997年
岩波現代文庫, 2007年
5. 1 小田村寅二郎「丸山真男氏の思想と学問の系譜」
『“憂国”の論理』, 全国学協編, 日本教文社 [0210523]
『学問・人生・祖国』, 国民文化研究会, 1986年
5. 1 中島誠「「変革の思想」とは(47) “慢性消費飢餓”の大衆: 自己矛盾の庶民性(中)」
『読売新聞』(夕刊), 読売新聞社
- 5.19 鹿野政直「色川大吉著「明治の文化」: 埋もれた民衆の中から」
『読売新聞』(夕刊), 読売新聞社
- 6.10 勝部真長「解説 思想史の方法論」
『日本思想の構造』(『現代のエスプリ』第29巻), 勝部真長編, 至文堂
8. 1 いいだもも・村上一郎「丸山政治学の論理と心理」
『現代の眼』第11巻第8号, 現代評論社
『戦後思想家論』, 現代の眼編集部編, 現代評論社, 1971年 [0210528] [1080-17-12]
* 「丸山真男 戦後民主主義の論理と真理」と改題
- 8.20 中野博之「丸山真男・加藤周一」
『学燈: 受験の国語: 大学入試マガジン』第23巻第9号, 学燈社
- 10.25 水谷昭夫「丸山真男 現代政治の思想と行動(上・下)」
『國文學: 解釈と教材の研究』第15巻第14号, 学燈社